

ハードウッドの施工例 ～設置17年目の姿～

【大田区多摩川緑地】 施工：1992年3月
撮影：2008年6月



真水

17年前に施工。
利用者が楽しく釣りをしている姿が微笑ましいが、
木材にとっては大変過酷な条件となる。
それでも支柱、土留板等の材料であるグリーンハートに、腐食は
全くみられない。



支柱：120×120頭部の腐食はなし。



土に触れている所も腐食はなし。



錆びた釘の周りでも腐食は全く見られない。
木材は金属錆と結露には弱く、早期に腐食が発生する。



つなぎ材40×105の腐食はなし。

驚異の15年保証

グリーンハートとイペは南米原産の木材で、
薬品処理や圧縮加工など自然に負荷をかける
防腐処理をすることなく、驚くべき耐久性と強度を
発揮し、地球環境にもやさしい天然素材です。
藍工業では業界初、腐食に対して**15年保証**です。
そしてグリーンハートは棘に対しても**15年保証**
いたします。

ハードウッドの施工例

～設置17年目のグリーンハート～

【鳴門市撫養海上公園】

施工：1997年
撮影：2014年6月



汽水

現場は17年前に施工された。支柱、桁、梁、根太の構造材はすべてグリーンハートで腐食は全く見られない。



撫養川河口部



支柱、梁、根太の腐食は、見られない。



フロートが稼働している所は貝殻が付かない。



貝殻に覆い尽くされた場所。頑固に貼りついた貝殻を取り除くと腐食は見られない。



撫養川の河口で汽水の場所。腐食は見られない。

ハードウッドの施工例

～設置19年目のグリーンハート～

【東品川海上公園】 施工：1995年
撮影：2014年5月



海水

1995年に施工されたボードウォークを品川市役所公園課担当者と共に訪れた。ハードウッドの耐久性が実証されたと言っても過言ではない。特に優れた成績であったのは柱、大引き、根太に使用したグリーンハート材と床板に使用したイペ材であることが解った。



海水に浸かることもある束柱、根がらみ、筋交いはグリーンハートである。



デッキの裏側。紫外線の影響が少ないため色落ちは少ない。根太に埃が付着していないのは、この材は体内に蠟(ロウ)状の油分を持っており、それらは雨水などで流れているからである。



根がらみに腐食が観察される。(柱はジャラ、ボンゴシ、パープルハートを使用) 支柱のグリーンハート100×100の腐食は、全く見られない。



防錆処理された鉄柱は、既に錆び始めている。



コンクリートの基礎に劣化が見られる。支柱のグリーンハートに腐食は見られない。

ハードウッドの施工例 ～設置8年目のグリーンハート～

【品川水族館】 施工：2006年3月
撮影：2014年6月



現場は2006年に施工された。支柱、笠木、格子、根太はグリーンハート材を使用。床板はトンカビーン材40×150。手の触れるところはグリーンハートが最適であることが解った。チーク(teak)の代用品と言っても過言ではない。



柱：120×120 笠木：60×150 格子30×90
笠木のトゲ・ササクレは全く発生していない。



床板はトンカビーン 40×150リブ加工。
根太@800以内で施工したので反りは少ない。



柱、手摺、格子にササクレ・捻じれは見られない。
ハードウッド特有のエクラックは少ない。
針葉樹のようにソフトな仕上がりである。



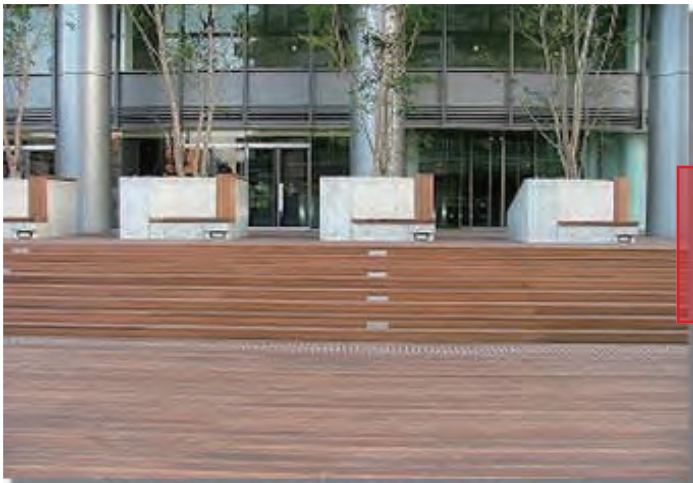
エクラックは板目に少し見られるが、糸状に細くササクレは無い。

グリーンハート材の経年変化

【大崎アートビレッジ】 施工：2005年10月
撮影：2013年7月



経年変化による色の退色(灰褐色)は設計当初に想定していたので違和感はない。デッキの風合いは、イペ材によく似ている。この材の特長は、ササクレとトゲが無いことである。



トゲのないグリーンハートの手摺

【目黒自然教育園】

施工：2009年6月
撮影：2010年8月



施工直後の階段、手摺。



紫外線により色はグレーに退色している。グリーンハートφ36のエアクラックおよびササクレは見られない。エクステリアの世界的な最高級木材チーク(teak)に勝るとも劣らない材の証である。



手摺：グリーンハートφ36 無垢材
受け金物：SUS製



グリーンハートの手摺φ36の曲り、小口割れもほとんど見られない。



支柱：グリーンハート70×70



グリーンハートの支柱70×70のエアクラックも少なく、手摺φ36の反り、捻じれもほとんど見られない。